



未来へきれいな海を残すために

海洋ごみ削減に向けて

6月9日「海洋ごみ削減に向けた全国一斉清掃くオンラインシヨップ」が開催され、全国に活動場所が点在するB&Gの強みを生かし、各地の海洋センター間をオンラインでつなぎ、全国の児童と意見交換を行いました。

これは、ごみの地域性を比較することで、参加者の海洋ごみへの理解や関心を深め、一過性の清掃だけにとどまらず、海洋ごみ削減に向けて一人ひとりができる取り組みを考えて発表し、実践することで各自の行動を変えることを目的としています。

この日は、町内の小学生8人が町文化ホールーCＴ学習室に集まり、午前中に海洋ごみの特性などを学習後、事前に回収された海洋ごみを種類ごとに仕分けし、海洋ごみの特性について考察しました。午後からは、オンラインで全国の児童と海洋ごみの特性や危険性などについて意見交換を行いました。

参加した増田唯さん（蔵之元小4年）は「未来へきれいな海を残すために、ごみを見つけたら決められた場所へ捨てる」と今後の活動への宣誓を行いました。



自治公民館対抗ゲートボール大会 薄井自治公民館が優勝

自治公民館対抗ゲートボール大会



優勝【薄井】 準優勝【三船】
第3位【本浦A】 第3位【川床上】

5月20日から23日まで、第19回自治公民館対抗ゲートボール大会が町総合ターミナル施設で開催され薄井チームが優勝しました。

この大会は町民の健康増進と健全な自治公民館づくりを目的に開催している大会で13集落から21チームが参加し、予選を勝ち上がった8チームが決勝トーナメントへ進出しました。

決勝戦は、薄井チーム（写真）と前年度優勝の三船チームが熱戦を繰り広げました。

町の特産品がコンビニエンスストアの商品に

町のジャガイモを手軽に美味しく

5月21日から6月17日までの約4週間、南九州地区のファミリーマートで町特産の赤土ジャガイモを使用した、ポテトサラダとポテトサラダサンド、さつま汁の3商品が発売されました。

5月31日、赤土ジャガイモを提供した工グチベジフル（株）と同社が役場を訪れ、試食会を行いました。

川添健町長は「味もおいしく、オシャレなパッケージ。今後も町内の特産品を使った商品展開をぜひお願いしたい」と話しました。

